



幡多希望の家

(No.25)



〒788-0782 高知県宿毛市平田町中山 867

社会福祉法人 土佐希望の家

幡多希望の家医療福祉センター

TEL ◆ (0880)66-2212 FAX ◆ (0880) 66-2215

HP ◆ <http://www.hatakibou.jp/>

Mail ◆ hataki01@mb.gallery.ne.jp

<発行所> 幡多希望の家医療福祉センター

<発行日> 2023 年 1 月 1 日 <発行責任者> 河原 敏郎



～新年のごあいさつ～

社会福祉法人 土佐希望の家
理事長 門 田 正 坦

ご利用者の皆様、ご家族の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は、急激な円安などによる物価の高騰で、日常生活に大きな影響がありました。円安は少し戻りましたが、電気代など、庶民生活への影響は続きそうです。

さて、新型コロナウイルスは、昨年後半から感染力の強い BA5 により感染者が急増しました。土佐希望の家医療福祉センターでは、二つの病棟でクラスターが発生し、6 月の 1 病棟では、利用者 6 人、職員 10 人の感染が、9 月の 3 病棟では、利用者 34 人、職員 29 人の感染が確認されました。

陽性の方のゾーニング（エリア分け）など、予め対応シミュレーションを準備していましたが、想定どおりならないことも多々あり、職員の臨機応変な対応とチームワークによりまして、1 人も重症化することなく、また、他の病棟へ拡大することなく、的確な対応ができたと考えています。

新型コロナウイルスは、変異を繰り返しています。ワクチン接種など、今後とも感染防止対策には万全を期してまいります。第 8 波の一日も早い終息を願うばかりです。

昨年 4 月に「社会福祉法人 幡多福社会」と「社会福祉法人 土佐希望の家」との法人合併が成立し、合併後の法人名は、「社会福祉法人 土佐希望の家」に統一されました。名称は土佐に統一した形ですが、合併後も両施設の事業は独立採算で継続する、いわゆる対等合併です。4 月以降、幡多の幹部会に土佐からも幹部職員が参加し、移転改築や医師確保、給与の見直し、各種規定の統合、などについて協議を重ねています。また、職員の合同研修についても、両施設の看護・生活支援部門が相互に行き来して、協議を重ねています。

特に、幡多希望の家医療福祉センターは、軟弱地盤が確認されており、南海トラフ地震への対応、施設の老朽化、狭隘化などから、移転改築が必要です。このため、移転先の土地について、幡多地域の通所利用者の利便性も考慮し、宿毛市に限らず、四万十市も含めた広域での適地の情報収集に努めています。

この合併により、51 床の幡多と 142 床の土佐を合わせ 193 床の全国的にも最大規模の民間社会福祉法人となりました。合併による充実した組織体制により、スケールメリットも生かし、重症心身障害児者とそのご家族への支援の充実に取り組んでまいります。

コロナ禍で、保護者の皆様と直接お話ができる保護者会は中断しています。ご家族と入所者の方との面会は、対面面会が、第 8 波の感染拡大で窓越面会となり、ご不便をおかけしています。こうした中でも、保護者やご家族の皆さんとの意思疎通が大切であると考えていますので、不安に思うことや疑問な点などがありましたら、何なりとお問い合わせいただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、本年が、ご利用者、ご家族の皆様にとって、いい年でありますように、ご祈念申し上げまして、私からの新年のご挨拶といたします。

令和 5 年 元旦



常務理事便り ～新たな船出に寄せて～



幡多希望の家医療福祉センター
常務理事兼総務部長 河原敏郎

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナに翻弄され、かれこれ3年余りが経過しようとしています。

世の中は、感染拡大防止を標榜しつつ、社会経済活動維持へと舵が取られ、新型コロナウイルス感染症に対する認識も緩和されたかのようです。

一方で、私たち障害児（者）施設が置かれる環境は、世の中の流れとは真逆に、施設内への感染防止対策は基礎疾患を抱える障害児（者）の皆さんにとって最優先の課題であります。そのような中で、施設職員は、日々の不安と緊張感の精神的ストレスと向き合いながら、今日まで感染防止対策に取り組んでまいりました。

障害児（者）施設や高齢者施設、医療機関、学校等、多くの施設で新型コロナの感染拡大（クラスター等）が発生し、新聞紙上においても日々報道されているところです。幡多地区で最初にコロナが発生した2020年3月以来、当施設では感染対策委員会を中心に、入所者さんへの感染防止を第一に、スタッフ全員で施設内への持ち込み防御に努めてまいりました。しかし、遂に2022年12月のクリスマスの時期に第一例が発生し、現在までに12名の入所者さんがコロナ陽性となりました。職員も4名が陽性となりましたが、ともに想定以下の陽性者で済んでおり、ひとえにスタッフの努力のたまものと考えています。幸い重症化する人もなく、現在収束に向かっておりますが、ご家族の皆様には多大なるご心配をおかけしておりますこととお詫びいたします。第七波、第八波と繰り返す感染拡大の中で、新型コロナの収束はいまだ予測できず、ご家族の皆様には何かとご不便をおかけしておりますが、当施設の感染対策への厳しい現状をご理解頂きますようお願い申し上げます。

ご利用者・ご家族等の皆様のご協力に感謝申し上げますと共に、これからも、関係者の皆様が安心してご利用いただけるよう感染防止対策を徹底し、職員一丸となり感染対策に取り組んでまいります。

また、昨年4月からは、これまで姉妹施設として協力関係にありました「土佐希望の家」との法人合併が整い、合併後の新たな「社会福祉法人 土佐希望の家」がスタートしているところです。

法人合併に伴う事務的な調整作業等を含め、まだまだ取り組むべき課題はありますが、皆様のご理解ご協力のおかげで無事に船出ができましたことをご報告申し上げます。

施設運営としては、これまでどおり幡多の拠点事業所として何ら変わることはありませんし、合併により利用者さんへの影響が特別に何か発生するものでもありません。むしろ、施設運営に対する課題や方向性をより多くの視点で議論でき、運営基盤の安定に寄与するものと考えております。

合併により両施設の関係がより強化され、お互いに協力し合い、利用者・ご家族の皆さまに安心してご利用できるよう努力してまいりますので、これからも引き続きご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



第33回重症心身障害療育学会学術集会

令和4年10月6・7日

『重症心身障害療育学会学術集会を終えて』

「やることは全てやった、何の心配もない」そう言い聞かせ、演壇に上がったとたん、緊張と不安が一気にこみ上げ、発表を終え着席すると、膝が震えていたのを思い出します。この大役を無事に終える事ができたのは、研究仲間や指導の先輩・助言をして頂いた施設長・施設の多くの職員、そして研究の被験者となった、入所者さまの協力がなければ、ここまで来る事は出来ませんでした。



山下 公洋
(まつした きみひろ)

クリスマス会



今年もコロナ禍のクリスマス会。
サンタクロースもマスク姿です(^_^)
来年こそは、ご家族の皆さんと一緒に賑やかなクリスマス会が開催できますように…。



今年も手作りです！



管理職員総出のワックス掛け



利用者様に、気持ちよく新年を迎えていただこうと、今年も生活支援職員と管理職員が、合同で年末恒例の大掃除を行いました。

大掃除の後には、新型コロナウイルスの影響で、延期されていたワックス掛けを行いました。ピカピカになった病棟で、ご利用者様も、ニコニコ顔となり、輝きを増したように思えました。

【俳句】

〇遠雷に 追われて蝶の 木の景望

〇夕立(あめ)過ぎて 煙る(けぶる)谷間に 蝶の舞う
(星の王子さま)



山で畑仕事をしている時、遠雷が近づいてきて、雨の降りそうな雲行きとなりました。農作業を早く切り上げ家路につきましたが、やがて夕立に包み込まれ、木の根元で雨宿りを余儀なくされました。

その帰り道、雨上がりの煙る谷間に、蝶が乱舞しているのを見ました。葉っぱの下で雨脚を避けていた蝶たちが、一斉に飛び出してきて歓喜するような舞姿を見て、一句したためました。



新入職員紹介



河野 恵
(こうの あや)

〔抱負〕

幡多希望の家の皆さんが、健康で楽しく過ごせるように寄り添っていきたいです。

〔趣味〕

メダカを眺めることです。道の駅に行くと必ずメダカコーナーを探しています。家にも数匹居ます。

〔自己紹介〕

縁あって、11月からお世話になることになりました。河野です。名前は「恵」という漢字で「あや」と読みます。皆さん覚えてください!! 4月半ばから宿毛市民になりました。分からない事ばかりなので、いろいろ教えてください。よろしくお願いします。



南 寛晃
(みなみ ひろあき)

〔抱負〕

前職の経験を生かしてより一層環境整備に勤めてまいります。

〔趣味〕

スポーツ観戦など

〔自己紹介〕

20年間建設板金という仕事をしてまいりましたが、何か違う職業にチャレンジしようと思い入職しました。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

ご寄付をいただきました

- 高知県市町村職員互助会の皆様
- NHK歳末たすけあい共同募金にご協力いただいた皆様
- 有限会社カンキュー ラッシュバイパチコ宿毛店様



皆様からの温かいご支援に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年も新型コロナウイルスの感染が収束することはありませんでしたが、当施設では、日々の感染対策はもちろんのことですが、限られた状況の中でも利用者の皆様と精一杯「楽しむこと」を念頭に置いて、様々な取り組みをしてまいりました。今年も感染対策を行いながら、「楽しむこと」を忘れずに日々取り組んでまいります!